

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 3 月 1 日

事業所名 のびっくらんど愛愛

職員数 4 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	・活動上狭い場合はエリアを分ける。	・左記方法の継続
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1	・事故防止のためこどもの把握がしやすいよう過ごす場所を指定したり職員の配置に気をつけている。	・基準は満たしているが、内容の充実と事故防止、職員の健康保持の為にはもう一名ほしい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			段差はないが、廊下や部屋のスペースが狭く、出入りにくい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	第三者による評価は受けていないが、ISO監査、保護者の評価を受けている。	・左記方法の継続
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・コロナ感染対策のため機会減っているが、1/月の事業所内研修を充実させている。	・左記の継続と、オンライン研修に積極的に参加する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	・発達検査など事業所内では行っておらず、病院等での情報を頂いている。	・検査の解釈の仕方など職員のスキルアップを図り、日々の療育に生かせるようにする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	・担当制で行い、立案後、全体に周知し、確認・修正を行っている。	・左記の継続と、当日の確認を怠らないに心掛け、その都度反省し、より充実できるようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	・会議の際、次月の週ごとの活動を大まかに決め、バリエーションができるよう心掛けている。	・利用児に合った内容を提供できるよう各々で遊びや活動の情報を取り入れる意識を持つ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	行事では確実に行っている。日々の療育では細かい点まで行っていないことがある。	・事前の打ち合わせを職員が意識して行うことが習慣化するよう取り組む。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		担当の記録のみで終わってしまっている事もある。職員自身が意識して共有しあえるように改善したい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	職員のスキルにより、記録の内容に差が見られる。また記録で終わり、改善まで至らないことがある。	不明な点は職員同士で確認することを習慣づけ、支援計画につなげられる内容になるようにする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			職員の構成上、医療的ケア児の受け入れが不可能である。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		・当事業所は多機能事業所であり、児童から継続利用のケースがほとんどである。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			※対象者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	・市のこども未来課主催の発達障害支援研修や他事業所企画の研修には積極的に参加している。	・児童発達支援センターがこの地域に存在しないので、開設に向けて行政や他施設に働きかけていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		・利用児は全員地域の学校に通学し、学童クラブを利用しており、日常的に交流している。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4		・スタッフ数不足のため参加回数は限られるが可能な限り参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	職員のスキルの差により、活動や利用児の様子の報告に終わっているケースがある。	職員のスキルアップを図る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		・事業所としては行っていない。外部機関が開催するものを周知している。今後企画したい。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		・直接的な支援は行っていないが、会の紹介や、活動参加の募集はサポートしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	・会報は発行していないが、行事・連絡などある場合は案内の作成、及び直接口頭にて伝えている。	・左記の継続
	35	個人情報に十分注意しているか	4			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	・今年度はコロナウイルス感染防止対策のため中止した。	・状況を見て開催方法を検討し、感染防止対策を徹底することで企画したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			・保護者に緊急時マニュアルを配布している。感染症については掲示して周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・年2回、避難訓練を行っているが、利用児全員に対しては行っていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		保護者からの情報で対応している。直接指示書はもらっていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		・月1回のスタッフ会議で職員全員で出し合い、共有している。	・左記の通り継続し、改善策を検討する機会にする。